

村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会 議事録

会議名	第1回 村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会																																																													
年月日	令和4年6月27日(月) 15:10～17:00																																																													
会場	村上市教育情報センター 2階 会議室A・B																																																													
出席者	<p>【委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">にいがた岩船農業協同組合</td> <td style="width: 15%;">常務理事</td> <td style="width: 25%;">赤坂 浩一</td> </tr> <tr> <td>関川村商工会女性部</td> <td>副部長</td> <td>伊藤真由美</td> </tr> <tr> <td>新潟県村上地域振興局健康福祉部</td> <td>部長</td> <td>井内 康夫</td> </tr> <tr> <td>越後村上物産会</td> <td>事務局次長</td> <td>大滝 香織</td> </tr> <tr> <td>村上市消防団</td> <td>団長</td> <td>大竹 憲一</td> </tr> <tr> <td>村上市民生委員児童委員協議会連合会</td> <td>理事</td> <td>海沼 順一</td> </tr> <tr> <td>村上地域グリーン・ツーリズム協議会</td> <td>事務局</td> <td>鈴木 信之</td> </tr> <tr> <td>いわふね森林組合</td> <td>副組合長</td> <td>高橋 一男</td> </tr> <tr> <td>粟島汽船株式会社</td> <td>主任</td> <td>林 久美子</td> </tr> <tr> <td>NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター</td> <td>理事</td> <td>古林 拓也</td> </tr> <tr> <td>村上市図書館協議会</td> <td>会長</td> <td>山口又一郎</td> </tr> </table> <p>【村上市】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">企画戦略課</td> <td style="width: 15%;">課長</td> <td style="width: 25%;">大滝 敏文</td> </tr> <tr> <td>企画戦略課</td> <td>参事</td> <td>山田美和子</td> </tr> <tr> <td>企画戦略課 企画政策室</td> <td>課長補佐</td> <td>忠 康博</td> </tr> <tr> <td>企画戦略課 企画政策室</td> <td>副参事</td> <td>田村 政和</td> </tr> <tr> <td>企画戦略課 企画政策室</td> <td>主査</td> <td>山田 浩介</td> </tr> </table> <p>【関川村】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">地域政策課</td> <td style="width: 30%;">地域振興班</td> <td style="width: 15%;">班長</td> <td style="width: 25%;">石栗 孝子</td> </tr> <tr> <td>地域政策課</td> <td>地域振興班</td> <td>副主幹</td> <td>渡辺 輝章</td> </tr> </table> <p>【粟島浦村】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">総合政策室</td> <td style="width: 15%;">室長</td> <td style="width: 25%;">竹内 徹真</td> </tr> </table>			にいがた岩船農業協同組合	常務理事	赤坂 浩一	関川村商工会女性部	副部長	伊藤真由美	新潟県村上地域振興局健康福祉部	部長	井内 康夫	越後村上物産会	事務局次長	大滝 香織	村上市消防団	団長	大竹 憲一	村上市民生委員児童委員協議会連合会	理事	海沼 順一	村上地域グリーン・ツーリズム協議会	事務局	鈴木 信之	いわふね森林組合	副組合長	高橋 一男	粟島汽船株式会社	主任	林 久美子	NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター	理事	古林 拓也	村上市図書館協議会	会長	山口又一郎	企画戦略課	課長	大滝 敏文	企画戦略課	参事	山田美和子	企画戦略課 企画政策室	課長補佐	忠 康博	企画戦略課 企画政策室	副参事	田村 政和	企画戦略課 企画政策室	主査	山田 浩介	地域政策課	地域振興班	班長	石栗 孝子	地域政策課	地域振興班	副主幹	渡辺 輝章	総合政策室	室長	竹内 徹真
にいがた岩船農業協同組合	常務理事	赤坂 浩一																																																												
関川村商工会女性部	副部長	伊藤真由美																																																												
新潟県村上地域振興局健康福祉部	部長	井内 康夫																																																												
越後村上物産会	事務局次長	大滝 香織																																																												
村上市消防団	団長	大竹 憲一																																																												
村上市民生委員児童委員協議会連合会	理事	海沼 順一																																																												
村上地域グリーン・ツーリズム協議会	事務局	鈴木 信之																																																												
いわふね森林組合	副組合長	高橋 一男																																																												
粟島汽船株式会社	主任	林 久美子																																																												
NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター	理事	古林 拓也																																																												
村上市図書館協議会	会長	山口又一郎																																																												
企画戦略課	課長	大滝 敏文																																																												
企画戦略課	参事	山田美和子																																																												
企画戦略課 企画政策室	課長補佐	忠 康博																																																												
企画戦略課 企画政策室	副参事	田村 政和																																																												
企画戦略課 企画政策室	主査	山田 浩介																																																												
地域政策課	地域振興班	班長	石栗 孝子																																																											
地域政策課	地域振興班	副主幹	渡辺 輝章																																																											
総合政策室	室長	竹内 徹真																																																												
[進行] 事務局	1. 開会 〈あいさつ〉 〈資料の確認〉																																																													
鈴木会長 (以下、会長)	2. 挨拶 〈会長あいさつ〉																																																													
事務局	3. 委嘱状交付 〈委員へ委嘱状を交付〉																																																													
事務局	4. 視察 〈教育情報センター視察〉																																																													
事務局	5. 議事 村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会条例第6条第1項の規定により、会長が議長となりますので、会長よろしくお願いたします。																																																													

会 長	<p>それでは、これより議事進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたしますします。</p> <p>5.「議事（1）住自立圏共生ビジョンの変更について」説明いただいた後、皆様から質問をいただきたいと思ひます。それでは事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>5. 議事（1）定住自立圏共生ビジョンの変更について【資料1】説明</p>
会 長	<p>ありがとうございました。今ほどの説明について、委員の皆様から何かご質問、ご意見等がありますか。</p> <p>（特に意見なし）</p> <p>それでは、「議事（2）令和3年度取組実績及び令和4年度取組について」説明をお願いします。</p>
事務局	<p>5. 議事（2）令和3年度取組実績及び令和4年度取組について【資料2】説明</p>
会 長	<p>ありがとうございました。今ほどの説明について、委員の皆様から何かご質問、ご意見等がありますか。</p>
委 員	<p>資料1-1の13ページにある、自殺予防対策推進事業についてですが、令和3年度の予算に比べ、村上市だけが半分くらいになっていますが、事業に変更などありますか。</p>
事務局	<p>昨年度、市内の小中学校の教員向けに、学校のSOSの出し方教育を実施しております。これは、子どもたちの様子がちょっと変わったとか、ちょっと気になる様子がある。また、子どもたちが追い詰められたときに、それを親であったり、先生たちに発信できるような取り組みをしましょうということで、先生方に対して、教育の機会をつくったというものです。今年度については、教育委員会の直営で実施する形で予算減額させていただいたものです。</p>
委 員	<p>資料2-2の説明の中で林業担い手育成支援事業ということで、令和4年度は、「継続して林業体験事業の開催。40代以下の林業従事者と林業に関心がある若者が集い、テーマを設けて林業について話し合うワークショップを開催。そこで生まれた林業に関するイベントを実施」とありますが、最近、新型コロナウイルス感染症の流行により、海外から輸入されてくる木材は非常に少ないと聞いています。</p> <p>また、全国で昭和50年代に植えた木は、すでに60年～70年経ち伐採時期にあります。手入れがされてないために、非常に商品価値が悪い。今後、その手入れをしながら、いい木材を出すような方法や予算づけ。また、ここに書いてありますけども、林業従事者の育成をやっていただかなければ、林業がだんだんと衰退すると思ひますがいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>山が荒れているということで、国が令和元年から森林法を改正して、これからの環境問題に対応したいということで、税金をかけてその山を管理していこ</p>

	<p>うということが始まってきています。今、村上市でもそれに基づいて森づくり計画を立てていまして、その山をどのように管理していくのか各個人にアンケートをとっています。すでに回答いただいた6割の方が「市に委託したい」と回答し、「わからない」「自分でやる」が合わせて4割ぐらい回答していると2、3か月前の話ですが聞いています。</p> <p>令和7年度から、1,000円ずつの森林環境譲与税の課税により、各地域の人口と山の面積をかけあわせて、市町村がそれを使って山を管理するというのが、今後進められていくということですので、今より管理されていくと思います。しかし、人材、それを支える現場、地域でその林業ができるような形で産業として定住するような形になるよう、木材も少しずつコロナ禍やロシア情勢の関係で値上がりが見られているみたいですので産業としていけば、これから少しは良くなっていくのではないかと思います。</p>
事務局	<p>ぜひとも森林組合には、その人材の部分を拡大していただいて、施業を活発にやっていただくと大変ありがたいと、要望もあわせてお願いしたいと思っています。</p>
委員	<p>新しい人が入ってきても長続きしないということもあります。</p>
事務局	<p>森林環境譲与税については、村上市の今年度予算で、9千万円ほど国から入ります。全国では600億円を県と市町村で配分して80%が市町村に入ることになっております。</p> <p>今までは東日本大震災の復興税が1,000円ずつ、課税されていましたがそれもそれと切りかわるような形で、課税をしようという考えがあるようでございます。</p> <p>村上市では、荒れている森林に充てるため、その意向調査として、自分の所有する山を今後どのように管理していくのか。例えば、「意欲と能力のある林業事業体をお願いする」という方もいらっしゃるれば、「市で管理して欲しい」、「自分で管理する」など様々あると思います。市では事業体に委託をするという流れになりますので、林業事業体には、山業会も含めて頑張っていただきたいと思っています。</p> <p>また、人材育成についても都岐沙羅パートナーズセンターに委託し、村上版WOOD JOBや農林公社の事業を請負っていただいています。そこに地元の若手の方に参加いただきそして実際に雇用につながっている事例もございますので、少しずつですが、着実に結果に表れていると考えています。</p> <p>これからも引き続き、村上市としてはそこにも力を入れていきたいと思っています。</p>
委員	<p>森林組合、生産森林組合、それと、山の仕事をしている業者が経営計画をたててやっているのが実状です。それが変わってきたということでしょうか。</p>
事務局	<p>そのやり方もあります。経営計画を自立して、そして計画的に間伐作業や道の整備などいろいろと施業しています。経営計画を立てていない部分については、先ほどの森林環境譲与税を充てていくというような仕組みになります。</p> <p>経営計画を立てた森林については、今まで通り、国の補助で行っていくという形になります。それだけだと荒れる山がだんだん多くなっていくので、国として森林環境譲与税を導入するというように変わってきています。</p>
委員	<p>個人の山については所有者がどこにあるか知らない、どこまでが自分が所有する山かわからないということもあります。土地所有者を最初に把握しながら、進</p>

事務局	<p>めていかないと進まないと思います。</p> <p>境界確定についても、森林組合にもお願いしながら、その境界の確定業務も行っていただいています。</p>
会 長	<p>26 ページの物産品販路拡大事業の予算がついていせんがどうしてでしょうか。</p>
事務局	<p>資料 1 - 1 の 26 ページに物産品販路拡大事業というところで、予算に関連しまして村上市の事業費が令和 3 年度 0、令和 4 年度も 0 ということであります。こちらは、ふるさと納税の取り扱いを越後村上物産会さんをお願いしております。その辺の兼ね合いと村上市がこれまで運営的な部分としていた補助金を模索した経緯がございます。</p>
委 員	<p>平成 27 年からふるさと納税の返礼品を越後村上物産会の方で取り扱っております。村上市の方からは委託手数料的なものはいただいておりませんが、事業費としまして 2,272 千円いただいておりました。ふるさと納税の手数料収入によって、物産会独自で事業ができる仕組みが取れるようになり、令和 3 年度からは、村上市からの補助金なしということやっております。ただし今まで通り、観光課の方と連携をしていろいろな物産展について、協力していただけるということで進んでおります。</p> <p>関川村と、粟島浦村につきましては、会員様も関川村の方は 2 社、粟島浦村は観光協会も入ってくださっています。補助金といいましても、負担金という形で、ご負担をいただいておまして関川村の 2 社の方は、今後も物産会の会員として行っていきたいということを観光課にお話をしているということで伺っておりますので 125 千円、粟島浦村には、年 1 回のふるさとの観光と大物産まつりが村上市ふれあいセンターで開かれますが、その時に協力するというので 3 千円の負担金をいただいておられます。</p>
委 員	<p>23 ページの岩船米販売促進事業の令和 4 年度の村上市の事業費が令和 3 年度と比べて大幅に増額となっておりますがどうしてでしょうか。</p>
事務局	<p>生産対策協議会が各支所、本庁にございます。そこの事務員の賃金、報酬を予算に計上しました。従来は、補助金から充当していたため別枠で組んでいましたが、この補助金が未確定なため予算計上させていただいたものです。</p>
委 員	<p>(4) 産業振興の広域観光の資料の方で、25 ページの効果を見てください。全体的に予算の折り込み等はないものと書面上理解しておりますが、こちらの設定がされてない分、何か他のことで補っているなど考え方を少し伺えればと思います。</p> <p>また、成果指標として、予算上の取り組みがないものの、年 2 パーセント増加を見込むということを書かれており、踏襲していないけども効果だけ見込んで作られておりますので、考え方を伺いできればと思います。</p>
事務局	<p>広域観光圏としまして、庄内地方や阿賀北地域など、もっと広い範囲の枠組みで行っております。この 3 市村で新たに何か観光メニューを起こすとすると難しいというところがありまして、そういう既存の枠組みの中で、よりこの 3 市村に</p>

	<p>恩恵があるものを生み出していきたいということでここに登載してあります。</p> <p>新たな枠組みで、ターゲットを絞って観光旅行の開発っていうところにはいたっておりませんので、予算の方も計上はされておられません、新たな提案が事業化される時にはこちらに予算計上して、取り組みを進めていきたいというものでございます。</p>
委員	<p>KPI の設定についてですが、ここに書かれているのは、単年で何%増と報告いただいているのでしょうか。</p>
事務局	<p>この圏域に限らず、年2%で目指したいということで、計画・目標値を立てているため、このような尺度になっております。</p>
委員	<p>この事業として、政策を受けて具体的な取り組みをしていなのであれば KPI としては、設定しないという形の方がより良いと思います。</p>
事務局	<p>担当と KPI の持ち方についても共有させていただきたいと思います。</p>
委員	<p>こういう事業を数字まで入れてたくさん資料に示されるってことは、やっぱり皆さん一番気になることは、「なぜ増えたのか」あるいは、「なぜ減ってしまった」のかということだと思います。口頭で構わないと思いますが、「こういう事情で増えました」あるいは、「こういう事情で減りました」という理由はあると思いますので、次回以降、このような会合で説明していただいた方がよろしいかなというのが、1点目でございます。</p> <p>もう1つですが、資料2-2の観光ルート開発事業の令和3年度実績についてです。「新型コロナウイルス感染症の影響のため実績なし」と書かれており、事業内容には「事業内容の商談会等で売り込む」とありますので、商談会等で売り込んだ実績がないということだと思います。しかしながら、成果指標の実績には、観光入込客数1,703とあります。例えば2ページ目の一番上、村上市急患診療所運営事業について、これはコロナ禍で診療自体減ったと思いますが、令和3年度実績の中できちんと558人の内訳まで書きますので、この6ページ目の、広域観光ルートのところも、村上市、関川村、栗島浦村でそれぞれ書いたうえで実績を書かれた方がよいと思ったので、ご検討のほどよろしくお願いたします。</p>
事務局	<p>次回の会議資料といたして、ご意見いただきました点にも考慮しながら、わかりやすい資料の作成に努めさせていただきます。</p>
委員	<p>資料2-1で、令和3年度スポーツ少年団体育施設相互利用事業という事業がありますが、ここに書いてあることではないのですが、「学校の部活が基本的に徐々に地域に」というお話が進んでいます。広域圏の中で部活動の取り組みについて、考えていることはありますか。</p>
事務局	<p>こちらに関しましては、スポーツ少年団であれば、子どもの数が減ってきている関係で、合同チームでないと大会参加もかなわないという種目が結構出てきているとお話は聞いております。その指導に関して市村を跨いでこの合同チームに、いろいろな方が指導者として参加していると聞いておりますけれども、学校の部活動については、こちらでも把握はしていませんでした。</p>

委員	<p>令和5年度から徐々に学校から離すということらしいので、学校教育課とも話し合いをして、広域圏でできることがあれば、行えればよいと思うので検討してください。</p>
事務局	<p>担当課の方に村上市の荒川地域は、関川村さんとかと合同ということも考えられますので、ご意見をお伝えさせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>最近、死者を伴う火災が発生しています。自分で火をつけたというボヤ騒ぎもありましたが、担当の方が行ってすぐに消火したということもありました。このコロナ禍で、気持ち的に皆さん沈んでいるように思います。</p>
委員	<p>広域観光ルート開発のところで、今までやっていたのは山形県の庄内の方との連携だとか、そういったお話がありましたけども、せっかく審議会も村上市と関川村と栗島浦村とやっているの、この3つでつくれるようなルートはないものでしょうか。</p> <p>また最近、1人旅が増えているような気がしまして、70代とか60代の方もいらっしゃいますが若い方だと、20代30代の方が1人旅で島に来ているような感じ。それに対してコロナ禍の影響もありまして、インバウンドについても、少し出遅れているような感じはありますが、宮城県の金華山とかで、グリーン・ツーリズムと合わせて頑張っているところもあるようなので、その辺の方向性として考えがあればお聞かせください。</p>
事務局	<p>日本海きらきら羽越観光圏と置賜との連携という話では、観光部署の方では出ていますが、主に物産だったかと思います。</p> <p>また、相談会ではツアー客の誘致は進めているかと思いますが、今ほどお話がありました個人客については、あまり早急に取り組んではいなかったと思います。村の事情だけでいえば、1人客に対応した宿泊施設がほとんどないということで、キャンプ泊の方が多いと思います。協力していけるようなところが、時代も特に変わってきているということでマイクロツーリズムであったり、修学教育旅行の関係でも、この圏域で資材を使った誘客というのは、まだまだできるのかなと思っているのですが、具体的にはまだ、把握していません。</p>
委員	<p>旅行会社は1万歩クラブというものを作っています。1万歩は、歩くと6キロ。その距離を歩くツアーを毎回あちらこちらに作っていて、6キロ歩いてそのあと食事をとってもらうとか、秋には出羽街道を歩いて、泊まって観光してもらう計画があります。先日は、関川の米沢街道でもありました。</p> <p>いろいろな形のツアーに旅行会社も取り組んでいて、今後も研究していただければと思います。</p>
会長	<p>先ほど、情報センターを見ていただきましたが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>プラネタリウムの利用が年間で約1,000人近く。現状的には、非常にいいと思います。</p> <p>例えば、小学校4年生か5年生に無料でこのプラネタリウムに触れさせるようなことはできないのかなと感じました。広域的に、関川村の子どもも栗島浦村の子どもにも触れさせる機会があるとすごくいいと感じました。</p>

事務局	<p>1,000人の内訳が大人と子どもで出ていませんので、わかりませんが、ご検討いただければと思います。</p> <p>学校の授業で見学にこられて、見られているということはございます。</p> <p>また、3年ぐらい前ですが、関川村の学童保育で、プラネタリウムを見せたいということで来られました。いずれも減免対象として対応させていただいております。</p>
委員	<p>学校授業だと減免が効くっていいことですね。そういう形でPRされるとよいと思いました。</p>
事務局	<p>主催が例えば市ですとか、共催ですと教育的な活用については、減免ということにさせていただいております。</p>
委員	<p>今日の視察を踏まえて、私も子どもがおりまして、ぜひ利用させていただきたいと思いますし、広めていくということもできたらと思っています。</p> <p>もう一つは、やはり課題というところで、施設の老朽化の話ですとか、プラネタリウムの補修の話がありました。教材のところでは、例えばビデオが1,000本というのは一番大きいのですが、ビデオで閲覧できる場所が少なくなっていると思っています。全体的な更新というものが、大きな課題と思ったのですが、それがこの予算上いくらぐらい賄いながら、固定的に働いているのかなど、そのようなところがポイントと思って拝見させていただいております。</p>
事務局	<p>施設の老朽化につきましては、村上市で公共施設マネジメントプログラムとして全部で461施設を、今後どのような方向性を出して施設整備をしていこうかといったことを令和3年度、4年度の2ヵ年を重点期間として取り組んでいます。その方向性が示されているのが、多くはないのですが、今現時点で13施設ございます。この13施設は「廃止」や、地元の集会施設公民館等については、地元で「譲与する」など方向性が決まっています。この情報センターも含めて、施設整備の方向性をすべての施設で打ち出そうとして取り組んでいるところであります。そこは教育委員会を中心に、今後の方向性を出していく作業を進めているところであります。</p> <p>教材の更新につきましても所管課の方で、必要な予算は要求していくということでございますので、当市全体の財政のバランス、予算のバランスを考えながら計画的に予算措置をしていくということになるかと思っております。</p>
委員	<p>広域事務組合で整備した施設は、関川村、栗島浦村にも負担いただいておりますか。</p>
事務局	<p>負担割合がございまして、広域でそれにかかる経費については応分の負担ということになります。常備消防、非常備消防も然りです。負担割合に応じて事業費を案分して、負担いただいております。</p>
委員	<p>他に広域事務組合で建てたものには、何がありますか。荒川の体育館もそうだったと思います。</p>
事務局	<p>消防や、施設を閉鎖しましたが、やまびこの家もそうです。あと、やまゆり荘です。</p>

<p>委員</p> <p>会長</p> <p>事務局</p> <p>副会長 事務局</p>	<p>今後、どんどんと補修が必要になってくると思います。</p> <p>皆様から他に、意見はありますか。 無いようでありますので、以上で議事を終了させていただき、議長を退任させていただきます。ありがとうございました。</p> <p>6. その他 〈事務連絡〉 事務局からは以上でございますが、委員の皆様から何かありますかでしょうか。 (特に意見なし)</p> <p>7. 閉会 〈副会長あいさつ〉 ありがとうございました。 以上を持ちまして、第1回村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会を終了します。 本日は、大変ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
---	--